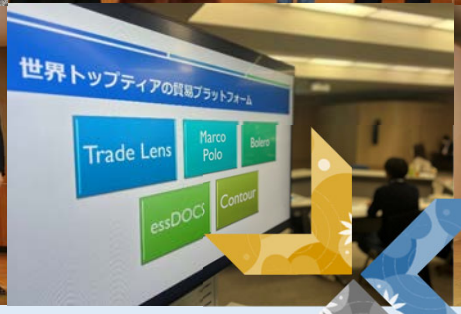
Event Report

Japan Customs 150th Anniversary Student Forum

日時･場所	２０２３年３月７日開催 @ 東京税関
参加校	中央大学、津田塾大学、明治大学、早稲田大学、愛知大学、富山高等専門学校
参加者数	５５名　１６チーム

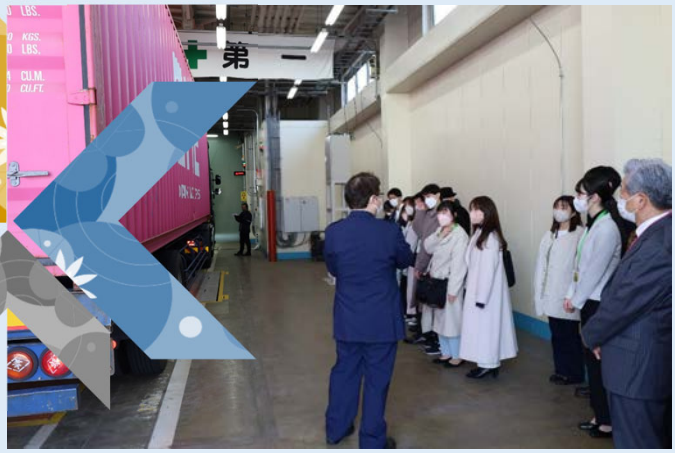


研究発表会

Japan Customs 150th Anniversary
Student Forum

職場見学交流会

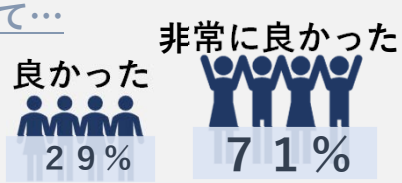
Japan Customs 150th Anniversary Student Forum



アンケート結果 最優秀賞チームの感想

フォーラムは…

参加して…



- 貿易や物流のことを**学ぶ機会**になった。
- **日本が抱える課題**を考えることができた。
- 他の班の発表から**知識を得た**。
- **国益**について深く考えた。
- **商品輸入プロセスを考えた**ことがなかった。
- 関税局の**貴重な話を聞くこと**ができた。
- フォーラムに参加して**初めて知ることが多かった**。
- 起きている事象を**貿易の側面から捉える機会**になった。

職場見学の感想

- **普段は見れない**見学ができてよかった。
- 職場見学は**全てが新鮮**で印象に残っている。
- 税関が**民間企業と連携**していることが印象的。
- 職場の**リアルを体感**することができた。
- 貿易円滑化の**必要性を実感できていなかった**が、今回体感して理解することができた。
- 国の安全を守る**重要な役割を担っている**と実感。

税関や通関業・通関士に対する印象

- 今後、税関の取締りのニュースが流れた時の印象が変わるだろう。
- 貿易の裏側に通関士の方々がいることを知った。
- 通関業は日本の貿易発展に欠かせない存在。
- 「公」と「民」の連携が意外と強かった。
- 様々な職種・ステークホルダーとの関わりがあるということを知れた。

教員からの感想

- 税関の仕組みを含め、学生なりに意見やアイデアを出す場として重要である。
- 学生交流の場及び学校外でのイベントが重要である。
- 学生達の満足度が非常に高かった。
- グループワークを通して共同で何かを成し遂げることに充実感を得たようで，有意義な時間を過ごすことができたようです。
- 自分たちが学校外でも能力が評価されることに大変喜んでいる。

最優秀賞チーム（明治大学商学部：チーム「一兵団」）の感想

驚きとともに大きな喜びを感じています。

物流センター、検査センターの見学や他大学のチームによる様々な角度からの研究発表を聞いて、今後の自身の糧となる多くのことを学びました。

今まであまり意識したことがなかった「通関」に関してフォーカスして考えるのが楽しく、ただ税を徴収するだけではない奥の深い世界だと感じました。

発表当日までの数ヶ月間は非常に濃く充実しており、一生忘れない思い出となりました

このメンバーと一緒に取り組んできたことを嬉しく思っており、心から感謝しています。

財務省

財務省広報誌
「ファイナンス」
2023.5月号

詳しいフォーラムの様子を掲載しています。
https://www.mof.go.jp/public_relations/finance/denshi/202305/index.html#page=39

SPOT

税関発足150周年事業「大学生フォーラム」を開催
～国際物流と貿易の未来を考える～

関税局税関調査室

2023年3月7日、財務省関税局は、税関発足150周年事業である「大学生フォーラム」（共催：日本通関業連合会・東京通関業会、協力：日本貿易会）を東京税関（東京都江東区）において開催しました。

2022年11月28日、税関発足150周年を機に、あらためて、税関の役割や意義に係る認知度・理解度の向上を図るため、財務省関税局・税関は、様々な広報事業を実施してきました。

1　開催まで

（1）企画の着想（2021年12月～）

税関発足150周年事業を担当する財務省関税局税関調査室は、全国各地で、様々な世代に向けた広報事業を企画し開催してきました。そのなかで、大学生向けの事業として、フォーラムを開催することを着想し、「参加型」「双方向性」を土台に、日本の未来を担う若者に税関の役割と意義について考えてもらうことをコ

一般社団法人 日本通関業連合会
Japan Customs Brokers Association

日本通関業連合会
会報「JCBA」
2023年5月号

税関発足150周年事業

大学生フォーラムの開催

（一社）日本通関業連合会は、3月7日（火）に東京税関において、財務省関税局及び東京通関業会との共同主催及び日本貿易会の協力により、税関発足150周年記念事業の一環である「大学生フォーラム」を開催しました。

フォーラムには、中央大学経済学部、津田塾大学総合政策学部、早稲田大学商学部、富山高等専門学校国際ビジネス学科、明治大学商学部、愛知大学法学部から、16チーム・55名の学生が参加しました。

当日の午前中は、東京港青海ふ頭内のワールド物流センターや東京税関コンテナ検査センターを見学しました。ワールド物流センターでは、屋上から東京港のコンテナふ頭の全景を眺めながら、東京港の概要や海上コンテナ貨物の流れについての説明を受け、また、会議室において、通関手続きや通関士の役割等についての説明がありました。

午後からは、「日本経済を発展させ、日本国民の生活を豊かにする貿易とは何か～昨今の国際貿易、国際物流に関する環境変化を踏まえて～」といったフォーラムのテーマに基づき、各グループがそれぞれ調査・研究した成果を発表し、また、当連合会の岡藤会長もフォーラムの審査員として参加していただきました。

フォーラム終了後の学生への事後アンケートでは、今回のフォーラムが貿易や物流のことを学ぶ良い機会となり、参加して大変良かったといった意見が多数寄せられました。また、ワールド物流センターの見学に対しては、「通関業は、日本の貿易発展に欠かせない存在であることが分かった。」、「民間企業と税関が連携していることを知らなかったので、今回、両方の話を聞けて大変勉強になった。」、「通関士の方からの解説や意見は貴重なものであった。」など、通関業の認知度向上に繋がったものと思われます。

物流センター・会議室

審査員・国際会長

結果発表・表彰

物流センター・屋上

フォーラム・発表会場

参加者・集合写真

税関発足150周年事業

大学生フォーラム

水際で守る
日本の未来

2023
3/7 火

主催
財務省
日本通関業連合会
東京通関業会

協力
日本貿易会

開催場所
東京税関

一日の流れ

10:00
東京税関１階ロビー集合
（下の案内図参照）

10:05～10:20
オリエンテーション、業務紹介ビデオ上映
（東京税関２階会議室）

10:20
東京税関出発

Aパーティー
10:30～12:00
ワールド物流センター
青海コンテナ検査センター
見学

Bパーティー
10:30～12:00
青海コンテナ検査センター
ワールド物流センター
見学

12:00～12:50
昼食、休憩
※　午後の流れ、発表の注意事項を説明
※　昼食には関税局若手職員も同席

12:50～17:02
主催者代表挨拶、審査員の紹介
各グループによる研究発表（10分間）
審査員からの質問（1問）

17:05～17:35
関税局若手職員との交流会
（同時に審査員による会議を実施）

17:35～18:00
結果発表、表彰、講評
記念撮影、オリエンテーション、終了
（予定）

集合場所
東京税関
東京都江東区青海2-7-11
東京港湾合同庁舎

（最寄り駅）
ゆりかもめ
「テレコムセンター駅」
徒歩3分

案内図

参加チーム（発表順）

※ 第１回フォーラムのパンフレット（発表テーマ）

No	大学・学部	テーマ名
1	中央大学 経済学部	中小企業の貿易促進
2	中央大学 経済学部	原産地規則と企業のFTA利用
3	津田塾大学 総合政策学部	資源エネルギー貿易に着目した 海上輸送の安全保障
4	中央大学 経済学部	FTAネットワークの拡大に伴う 「スパゲッティ・ボウル現象」の抑止
5	早稲田大学 商学部	国際貿易における日本の地位に関する課題と税関が行うべき施策 ～日本における各都市の経済的特徴に合わせた貿易港の改善～
6	富山高等専門学校 国際ビジネス学科	伏木富山港を利用した貿易活性化
7	早稲田大学 商学部	模倣品流入への規制強化について
8	中央大学 経済学部	顕示比較優位から見るFTA ～日本の改善を目指して～
9	明治大学 商学部	途上国農業従事者に新たな可能性を持つ 関税の可能性について
１０	中央大学 経済学部	文化的財の輸出と訪日外国人数の関係 －クールジャパン戦略の有効性
１１	中央大学 経済学部	貿易プラットフォームと貿易円滑化
１２	愛知大学 法学部	日本における不正輸出の実態について ～外為法違反から考える新たな提案～
１３	中央大学 経済学部	関税を用いた最適な食料自給率－牛肉のケース
１４	津田塾大学 総合政策学部	半導体産業と経済安全保障
１５	早稲田大学 商学部	技術流出の防止に対する税関の新戦略
１６	明治大学 商学部	国際物流効率化を促進する 新たな取り組みの可能性について